

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市中部身体障害者福祉会館	評価対象年度	令和5年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人 川崎市身体障害者協会 ・代表者名 理事長 関山 進 ・住所 川崎市川崎区大島1-8-6	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	[講習会・ボランティア育成事業](延べ人数) ・文化教養講座(パステルアート講座):10名 全1回 ・手話入門講習会(夜間):143名 全10回 ・夏休みこども手話教室:84名 全4回 ・夏休みこどもパステルアート教室:15名 全1回 ・手話入門講習会(昼間):37名 全4回 ・音声訳入門:受講者:35名 全3回 ・コミュニティカフェ講座:8名 全1回 ・傾聴入門講座:21名 全1回 ・吃音講座:3名 全1回 ・文化教養講座(絵手紙教室):6名 全1回 ・こども絵手紙教室:4名 全1回 [作業室] 令和6年3月31日現在 ・在籍数:生活介護 19名(定員15名) 就労継続支援B型 4名(定員10名)																																																					
収支実績	<table> <tr><th colspan="2">身障会館</th><th>(円)</th></tr> <tr><td rowspan="3">収入</td><td></td><td>27,400,053</td></tr> <tr><td>指定管理料</td><td>27,253,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td>147,053</td></tr> <tr><td colspan="2">支出</td><td>28,436,924</td></tr> <tr><td rowspan="4"></td><td>人件費</td><td>21,447,700</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>2,700,114</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>267,878</td></tr> <tr><td>施設管理費</td><td>4,021,232</td></tr> <tr><td colspan="2">差額</td><td>▲ 1,036,871</td></tr> </table>	身障会館		(円)	収入		27,400,053	指定管理料	27,253,000	その他	147,053	支出		28,436,924		人件費	21,447,700	事務費	2,700,114	事業費	267,878	施設管理費	4,021,232	差額		▲ 1,036,871	<table> <tr><th colspan="2">障害者福祉サービス</th><th>(円)</th></tr> <tr><td rowspan="3">収入</td><td></td><td>47,640,425</td></tr> <tr><td>給付費・利用料</td><td>46,292,695</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,347,730</td></tr> <tr><td colspan="2">支出</td><td>40,752,828</td></tr> <tr><td rowspan="5"></td><td>人件費</td><td>32,774,688</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>3,534,837</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>2,970,558</td></tr> <tr><td>施設管理費</td><td>708,444</td></tr> <tr><td>その他</td><td>764,301</td></tr> <tr><td colspan="2">差額</td><td>6,887,597</td></tr> </table>	障害者福祉サービス		(円)	収入		47,640,425	給付費・利用料	46,292,695	その他	1,347,730	支出		40,752,828		人件費	32,774,688	事務費	3,534,837	事業費	2,970,558	施設管理費	708,444	その他	764,301	差額		6,887,597
身障会館		(円)																																																				
収入		27,400,053																																																				
	指定管理料	27,253,000																																																				
	その他	147,053																																																				
支出		28,436,924																																																				
	人件費	21,447,700																																																				
	事務費	2,700,114																																																				
	事業費	267,878																																																				
	施設管理費	4,021,232																																																				
差額		▲ 1,036,871																																																				
障害者福祉サービス		(円)																																																				
収入		47,640,425																																																				
	給付費・利用料	46,292,695																																																				
	その他	1,347,730																																																				
支出		40,752,828																																																				
	人件費	32,774,688																																																				
	事務費	3,534,837																																																				
	事業費	2,970,558																																																				
	施設管理費	708,444																																																				
	その他	764,301																																																				
差額		6,887,597																																																				
サービス向上の取組	・各講習会の実施にあたり、会館ホームページによる情報発信をはじめ、町内会等へのチラシの配布、かわさき情報プラザによる区役所等の各公共施設へのチラシの設置、新聞折り込みの地域情報誌(タウンニュース)への掲載など、様々な広報活動に取り組んだ。 ・作業室の外で活動する機会を通して、経験や社会的視野を拡大するとともに、利用者同士やボランティア等との交流を深める機会として、外部での販売活動や日帰り旅行プログラムを企画・実施した。																																																					

3. 評価 (評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
	(評価の理由) ・令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症対策として、ボランティア団体・サークル等が会館を利用する際の定員を通常時より少なくして運営していたが、今年度から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、会館等の利用に係る人数制限等を撤廃したことにより、昨年度と比べて会館利用実績が約1.2倍に増加した。 ・各講習会の実施にあたり、会館ホームページによる情報発信、関連施設でのチラシの配布、新聞折り込みの地域情報誌(タウンニュース)への掲載等、地域の身体障害者福祉に係る福祉活動がより促進されるよう、様々な広報活動に取り組んだ。 ・利用者の状態に合わせた生活リズムの保持や身体機能の維持などについて看護師からアドバイスを行うなど、利用者の健康管理について支援を実施した。				
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・支出は、コロナ禍から徐々に事業活動を再開したことにより、昨年度と比較し、微増となったが、収支は安定している。 ・顧問契約している税理士法人に必要に応じて助言を求めたり、会計システムを導入するなど、会計基準に基づく会計処理や事業収支に関して適正な会計処理を行った。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・利用者の意思や主体性・自主性を尊重する取組として、利用者と職員合同の話し合いの場で利用者からの発言を促すことや、「朝の会」で利用者に司会を担当してもらう取組を行った。また、利用者の社会参加を促す取組として、地域に出向いての販売活動や日帰り旅行なども実施した。 ・会館職員と作業室利用者2名が小学校に出向き、小学4年生を対象に障害やバリアフリーについての講演会(福祉学習講話)の開催、中身館を利用する福祉団体等の普段の活動やその成果を広く市民に紹介し、地域住民との交流を図ること等を目的とした中身館フェスティバルの開催など地域の福祉活動がより促進するよう取り組んだ。 ・障害福祉の啓発・普及及びボランティア育成事業(講習会等)においては、利用者の参加率が高い「手話入門講習会(夜間の部)」の開催回数を増やすなど、地域のニーズに対応した。 ・意見箱の設置や保護者会(毎月1回)・利用団体懇談会(年1回)の開催などを実施することで、利用者や利用団体からの意見・要望を受け止められるような体制を整えるとともに、挙がってきた意見・要望等に対しても、迅速に対応した。また、会館利用者アンケート結果についても、肯定的な意見が多かった。					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) ・職員の業務課題や研修課題の整理を行うため、職員(管理部門及び作業部門)一人ひとりを対象に、定期的に面談を実施し、職員の資質の向上に向けて、取り組んだ。 ・適切な利用者支援を行うために、「中身館フェスティバル」などイベントを開催することによって地域との連携やネットワークの構築を図るとともに、職員の業務に関連した知識の獲得・職員のスキルアップを目的に外部研修等へ職員派遣などを行った。また、研修後は報告書の回覧や、職員会議・ミーティング等での報告と併せて意見交換等を行うことで、職場内での情報共有を行った。 ・非常災害に備えた取組として会館部分では、消防法に基づく年2回の防災訓練を行い、利用者の避難の困難性を考え、作業室ではそれに加えて、年4回の防災訓練(避難訓練)を実施した。 ・業務上の違法行為を未然に防止するために、月1回の職員会議や毎日のミーティングにて、法令遵守の徹底を図るとともに、個人情報等の外部漏洩を防止する為、USB等の使用及び外部への持ち出しを禁止するなど、取組を徹底した。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	(評価の理由) ・施設設備の安全管理のため、チェック表を活用して、1日1回職員が施設設備等に問題がないか館内の点検・確認を行った。また、専門的な保守点検等が必要な設備に関しては、専門業者へ保守点検・整備業務を委託するなど安全管理に努めた。 ・会館の日々の利用状況や建物の管理状況は、業務日誌に記録するとともに、年度毎のファイルに綴り、修繕関係書類は、業務毎にファイルに綴るなど、職員が確認を行いやすいよう保管しました。 ・利用者が安全かつ気持ちよく会館を利用できるように、会館内の清掃及び警備部分については、業務委託等を通じて実施した。 ・利用者の利便性や安全性の向上のため、設備の故障や老朽化があった場合には、早めの改修・修繕に努めた。				

4. その他加算

分類	項目	着眼点			評価点
その他加算	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0
	(評価の理由)				

5. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A～E／標準:C／A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・各講習会を実施するにあたり、町内会等へのチラシの配布など多様な広報活動に取り組むとともに、参加率が高い講習会については、利用団体等へ調整を行い、開催回数を増やすなど、地域のニーズに応える取組を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の流行により、開催できなかった中身館フェスティバルや日帰り旅行などをコロナ流行前と同等な規模とまではいかないが、再開することができた。
--

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・利用者の要望等を踏まえ、各サービスを引き続き提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。 ・新型コロナウイルス流行前の事業規模で、イベント等が再開できるよう、引き続き取り組んでいくこと。
--